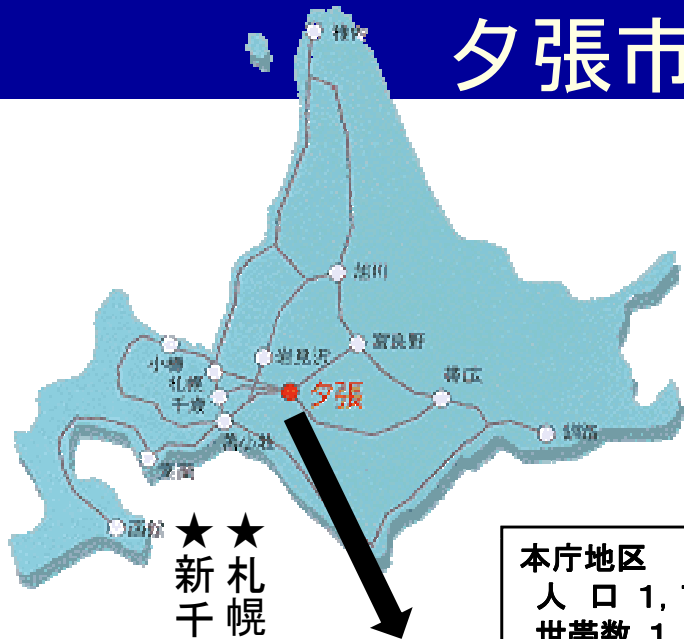


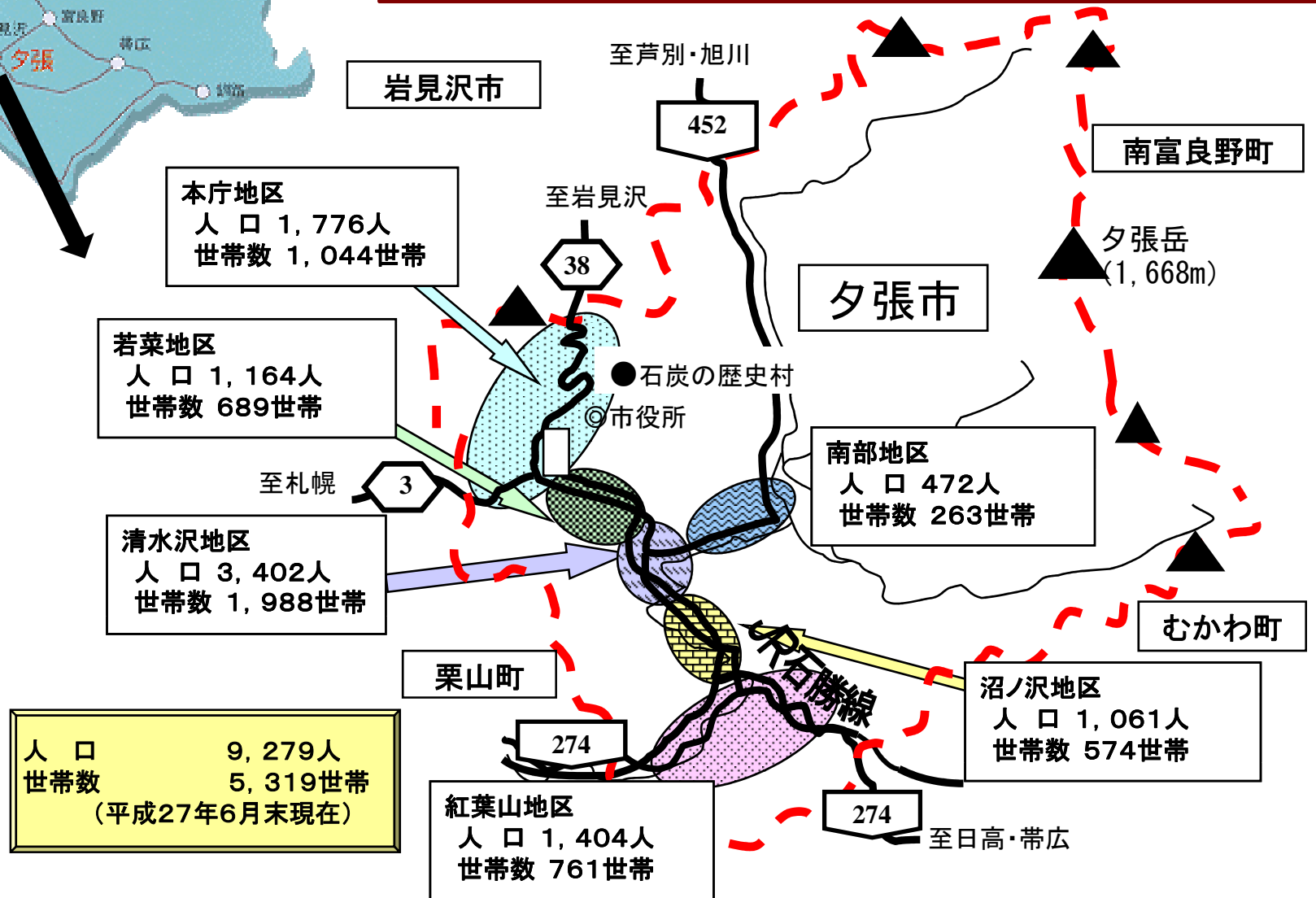
夕張市の位置と地区別の人口



★札幌から道東自動車道経由約
★新千歳空港から道東自動車道経由約

60分
80分

坑口の周りに集落が点在する、広域分散型の居住形態



かつての夕張は

石炭エネルギーの供給基地として発展



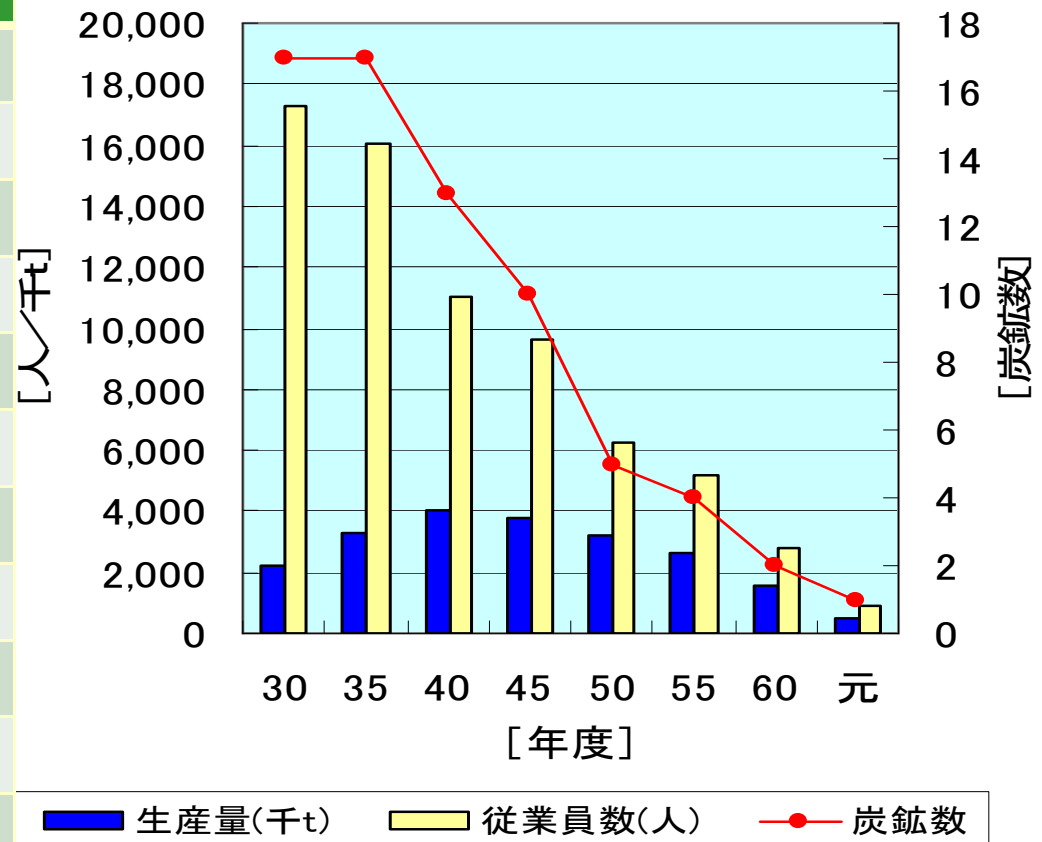
石炭鉱業の推移

夕張市の石炭鉱業は、国産エネルギー増産という国策の下、戦後復興を支えてきた。しかし、石炭から石油へのエネルギーの政策転換により、石炭鉱業は衰退した。

■炭鉱数・生産量及び従業員数

年	炭鉱数	生産量 (千t)	従業員数 (人)
1960	17	3,297	16,027
1965	13	4,036	11,025
1970	10	3,762	9,617
1975	5	3,173	6,290
1980	4	2,653	5,202
1982	3	2,056	3,141
1985	2	1,528	2,796
1987	2	935	998
1988	1	627	958
1989	1	522	885
1990	—	—	—

(図1)炭鉱数・生産量及び従業員数の推移



産炭地域特有の事情

産炭地では住民生活に必要な
資産を炭鉱会社に依存

閉山

炭鉱会社が残した資産は夕張市
以外に引き取り手がいない状況

- ・夕張炭鉱病院を引き取り
- ・炭鉱住宅約5,000戸を市営住宅に転換
- ・上下水道設備なども引き取り など

炭鉱閉鎖に伴う産炭地特有の
膨大な負の資産を抱えた

約584億円

炭鉱から観光へ～観光施設整備に積極投資～

■主な整備内容と現況

年	整備内容	現況
1980年	石炭博物館	指定管理
	SL館	休止
1981年	炭鉱生活館	休止
1983年	知られざる世界の動物館	解体
	アドベンチャーファミリー(遊園地施設)	解体
1985年	めろん城(農産物処理加工施設)	譲渡
1986年	ホテル・シューパロ	指定管理
1988年	ロボット大科学館	解体
1990年	幸福の黄色いハンカチ想いでひろば	指定管理
	第一回ゆうばり国際ファンタスティック映画祭開催	NPO法人
1991年	民間企業によりホテルマウントレースイ竣工	指定管理
1994年	夕張鹿鳴館(旧炭鉱会社所有の迎賓館)観覧開始	譲渡
1995年	ファミリースクールひまわり(廃校活用施設)	指定管理
1996年	ユーパロの湯(夕張温泉 夕鹿の湯)	指定管理

石炭博物館



ホテル シューパロ



ファミリースクールひまわり



ホテル マウントレースイ



幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば



ユーパロの湯 (夕張温泉 夕鹿の湯)



財政破綻の経緯

炭鉱産業の
拡大

エネルギー
政策の転換

炭鉱産業の
衰退

観光産業へ
の積極投資

炭鉱関連資
産の引き受け

炭鉱関連
職員の流出

投資の失敗

資金繰り悪化
と不適正会計

財政破綻



現在

国
(総務大臣)

協議→同意

伝言ゲーム

協議

夕張市
(市長)

市議会
議決

三者協議

総務大臣

北海道
知事

夕張市長

[高度な判断を要する事項を協議]

(必要に応じ)

国

実務者
レベル

北海道

夕張市

[財政再建・地域再生に向けた課題の
整理と対応策の検討(定期的開催)]